

「日本と世界が出会うまち・堺 2014」研究発表・講演会 講評			
日時	2014年9月15日(祝) 13時~17時	場所	サンスクエア堺ホール
主催	堺市博物館 大阪大学歴史教育研究会	後援	大阪府教育委員会
協力	「日本と世界が出会うまち・堺 2014」プロジェクト研究会		

講評						
賞	内容	グループ名	研究人数	発表人数	形式	
高校生の部	最優秀賞	研究発表 1番	山口県立豊浦高等学校 総合文化部 郷土研究班	3	1	パワー ポイント
萩反射炉と近代化						
非常に丹念に研究してきたことがうかがえる発表でした。萩の反射炉が作られた時代背景やその役割、世界遺産としての価値など、萩反射炉をよく知らない人にとっても、その意義がよく分かった発表内容でした。佐賀藩と萩藩との間での反射炉のつくり方に関するやり取りの様子も興味深く聞き入ってしまいました。我々審査員とのやりとりもしっかりと受け答えできていて、発表のベースがしっかりしているなど感心させられました。						
高校生の部	奨励賞	研究発表 2番	大阪府立堺東高等学校 堺学講座 堺色苦勞婆Ⅱ	3	3	パワー ポイント 劇
世界から堺へ、堺から世界へ ~鉄砲と堺打刃物						
堺の「黄金の日々」における国際交易の重要ポイントのひとつである琉球王国との貿易ルートにも目配せしながら火縄銃がなぜ堺で大量生産できたかをよく研究しており、さらに、その後から現代に至る堺打刃物の特長をユネスコ無形文化遺産となった「和食」の世界的な展開とも関連づけながら発表するという内容は、世界的な視野の広がりがあり優れたものでした。ただ、劇があまりにも饒舌になりすぎ、少し史実にそぐわない誇張されたやりとりが多かったことは残念でした。火縄銃と堺打刃物のどちらかに重点を置いて構成を精選すると、ぐっと訴える力が強くなると思います。劇の演じ方はうまかったので、シナリオにもう一工夫加えてコンパクトに仕上げれば、さらに素晴らしい発表になると感じました。						
高校生の部	優秀賞	研究発表 3番	帝塚山学院高等学校 歴史研究部	7	7	パワー ポイント
歴史を紡ぐ阪堺電車						
自分たちにとって本当に身近なテーマである路面電車、阪堺電車を取り上げたことで、丹念にフィールドワークができていて、その研究の成果がよく発表につながっていました。歴史的な流れと新しい動き、世界的な比較や日本における先駆都市の考察を踏まえた、阪堺電車が抱える課題とその克服に向けた提案など、発表の構成がしっかりしていました。欲を言えば、現代における路面電車を活用したまちづくり(例えば、都心部の車両規制と組み合わせた公共交通システムの在り方)などについてユニークな提案がなされていれば、もっと素晴らしい発表になると感じました。						
高校生の部	奨励賞	研究発表 4番	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 帝泉GUTS!!	4	4	劇 クイズ
千 利休の一生						
千利休の波乱の生涯について、よく研究をしていました。また、劇と組み合わせたクイズの内容の選択についてもなかなかの得たものだったとおもいました。劇もよく声が出ており、シナリオやセリフも適切で、短期間でよく仕上げたなあと感じました。会場参加型クイズという手法も、この発表会の趣旨にふさわしいものだったと思います。クイズの内容がスクリーンで確かめられるようにする、正解の解説をスクリーンを使って視覚的に行うなどすると、より分かりやすくなるのではないかと思います。また、千利休の茶の湯を宣教師がどう見ていたか、利休の茶道具の目利きにおいて、堺の国際交易がどのような影響を持ったかなど、日本的な視点に加えて世界的な視点を入れてもらっていたら、もっと素晴らしい発表になると感じました。						

研究発表 要旨					
時間	内容	グループ名	研究人数	発表人数	形式
中学生の部	最優秀賞	研究発表 5番	雲雀丘学園中学校 女子グループ	3	3 パワー ポイント
インスタントラーメンは世界を結ぶ					
自分たちで、さらには先生をも「活用」して世界のインスタントラーメンを集め、いろいろな比較をしたことがすばらしい研究につながりました。また、インスタントラーメンの博物館にも丹念にフィールドワークをしたことが、発表内容からも伺われました。日本から世界へ広がり、各国や地域ごとに個性の違うインスタントラーメンが生まれてきていることも、写真などで効果的に見せてくれました。欲を言えば、それぞれの国や地域ごとに、パッケージや麺のこしやスープの味などの特徴があるのですが、それがなぜそうなったのかという歴史的・地域的比較考察があれば、さらに素晴らしい発表になると感じました。					
高校生の部	奨励賞	研究発表 6番	雲雀丘学園高等学校 ヒ-girls	3	3 パワー ポイント
堺と宣教師					
今回の高校生の部は、どのグループもよく研究しており、レベルが拮抗していたので審査が本当にたいへんでした。このグループは、まずテーマ設定が良かったです。日本と世界が出会うまちである堺を研究するのにふさわしい着眼点でした。研究手法も、現地フィールドワークや文献調査などをしっかりと取り組んだことがよく分かりました。発表内容も研究成果を丹念にまとめていることが読み取れ、理解しやすいものになっていました。ただ、調査研究した内容をもう少し掘り下げていけば、より素晴らしい内容になったのではないかと思います。また、宣教師が当時の堺を宗教的視点だけではなく、経済的・文化的視点からも鋭く観察していたことに触れていけば、さらに深みが出たのではないのでしょうか。					
中学生の部	優秀賞	研究発表 7番	雲雀丘学園中学校 男子グループ	4	4 パワー ポイント
羽ばたけ！ 大阪国際空港					
グループの4人が本当に楽しく研究した様子が伝わってくる発表でした。そのことは本当に素晴らしいと思います。それだけではなく、このテーマについて、いろいろと視察・調査していったことが伝わってきました。内容面で言えば、国際線の復活について、近距離のアジアという視点を出していたのが印象的でしたので、この点をもう少し深く掘り下げていけば、もっと素晴らしいものに仕上がったのではないかと感じました。実は、中近世の時代の堺は、国際交易港としての機能はあまり良い物ではありませんでした（大型船の着岸がしにくい遠浅の港でした）。いろいろな制約がある大阪国際空港とどこか似ていませんか。そんな比較もあれば面白かったかもしれませんね。					